

自分のなかから生まれる問いをつかまえ
アートプロジェクトをつくる力を身につけるゼミ



自分のアートプロジェクトを つくる 2025 参加者募集中

【日程】 2025年10月ー2026年2月（全9日間）

【会場】 アーツカウンシル東京

【参加費】 32,000 円（税込）

【定員】 14 名 * 書類選考・面接があります

【申込締切】 2025年7月23日（水）13時

お申し込み・詳細は
裏面をご覧ください >>



主催 | 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
運営 | P3 art and environment



Tokyo Art Research Lab
新たな航路を切り開く

アートプロジェクトの立ち上げやディレクションに関心のある方を対象にした、ゼミ形式の演習です。自らが社会を捉える視座はどこにあるのかを見極め、どのようにアクションしていけるのかを、ゲストやナビゲーターとのディスカッション、参加者同士のワークを通して深めます。

ナビゲーターは、人と環境の相互作用に焦点をあてながら、社会状況に応答して発生するアートプロジェクトをつぶさに見つけてきた芹沢高志さん。そして、自身の経験や視点を共有していただくゲストには、武田知也さん、小沢剛さん、野田智子さんを迎えます。

Tokyo Art Research Lab 新たな航路を切り開く

自分のアートプロジェクトをつくる 2025

- 開催日程 全 8 回・9 日間 *最終回は 2 日連続で実施します
- 2025 年 10 月 5 日 (日)、10 月 18 日 (土)、11 月 8 日 (土)、
11 月 15 日 (土)、12 月 6 日 (土)、12 月 20 日 (土)
2026 年 1 月 17 日 (土)、1 月 31 日 (土)・2 月 1 日 (日)
- 開催時間 13 時—17 時 30 分 *1 月 31 日・2 月 1 日のみ 18 時まで
- 開催場所 アーツカウンシル東京
東京都千代田区九段北 4-1-28 九段ファーストプレイス 5 階
- 参加費 32,000 円 (税込)
- 定員 14 名 *書類選考・面接があります
- 申込 下記 QR コードから【2025 年 7 月 23 日 (水) 13 時 申込締切】



Tokyo Art Research Lab (TARL) ウェブサイト
<https://tarl.jp/opencall/newroute-seminar2025>

スケジュール

- ▶ 第 1 回 2025 年 10 月 5 日 (日) 13:00—17:30
イントロダクションと自己紹介
…主催者・スタッフ挨拶、参加者の自己紹介と企画構想共有
イントロダクション「アートプロジェクトとは？」(芹沢高志)
- ▶ 第 2 回 10 月 18 日 (土) 13:00—17:30
グループワークとディスカッション
…グループワーク「自分の立ち位置を確かめる」
ディスカッション (ファシリテーション: 森司)
- ▶ 第 3 回 11 月 8 日 (土) 13:00—17:30
プレゼンテーションとディスカッション
…武田知也によるプレゼンテーション/ディスカッション
- ▶ 第 4 回 11 月 15 日 (土) 13:00—17:30
プレゼンテーションとディスカッション
…小沢剛によるプレゼンテーション/ディスカッション
- ▶ 第 5 回 12 月 6 日 (土) 13:00—17:30
中間発表
…構想中のプロジェクトの中間プレゼンテーション
フィードバック/ディスカッション/プロジェクトを深める
- ▶ 第 6 回 12 月 20 日 (土) 13:00—17:30
プレゼンテーションとディスカッション
…野田智子によるプレゼンテーション/ディスカッション
- ▶ 第 7 回 2026 年 1 月 17 日 (土) 13:00—17:30
ディスカッション
…構想中のプロジェクトについてディスカッション
最終発表へ向け準備
- ▶ 第 8 回 1 月 31 日 (土)・2 月 1 日 (日) とともに 13:00—18:00
最終発表
…自分のアートプロジェクトをプレゼンテーション
講評 (芹沢高志、森司)
これからのアートプロジェクトについてディスカッション

注意事項…プログラムは変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。
お預かりした個人情報、本事業の運営及びお知らせのみに使用します。
実施中の写真や映像、レポート等の記録は、本事業の運営・広報等に使用します。
お問い合わせ…公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 事業部 事業調整課 事業調整係
TARL 事務局 TEL: 03-6256-8435 (平日 10 時—18 時) E-mail: tarl@artscouncil-tokyo.jp

ナビゲーター



芹沢高志 せりざわ たかし
P3 art and environment 統括ディレクター

1951 年東京生まれ。神戸大学理学部数学科、横浜国立大学工学部建築学科を卒業後、(株)リジナル・プランニング・チームで生態学的土地利用計画の研究に従事。1989 年に P3 art and environment を開設。1999 年までは東長寺境内地下の講堂をベースに、その後は場所を特定せずに、さまざまなアート、環境関係のプロジェクトを展開している。著書に『この惑星を遊動する』(岩波書店)、『月面からの眺め』(毎日新聞社)、『別府』(ABI + P3 共同出版プロジェクト) など。

ナビゲーターメッセージ

今、私たちは混迷の時代を生きている。そんななか、問題を発見するというアートの根源的な力に再び注目が集まってきているように思う。一方、アートもこれまでのかたちのままではいられない。時代や社会との応答のなかで、アートはその様相を大きく変容させつつある。アートプロジェクトという概念も急速に認知されてきた。しかし考えてみれば、「アート」と「プロジェクト」はそれぞれに相反する性向を内在させている。問題発見的な性向と問題解決的な性向の両者を、いかに相殺せず、メタレベルでバランスを取っていくのかが、アートプロジェクトの醍醐味でもあると考えられるし、そのためには数々の経験知、集合知も必要になるだろう。この演習ではもう一度「わたし」に立ち戻り、「わたし」が本当に大切であると思う「自分のアートプロジェクト」を構想した上で、皆で話し合い、相互に刺激を受け合っていくプロセスで展開していく。着地すべき正解があるわけではない。この動的な対話の航海を通して、新たななにか、来るべきアートプロジェクトのプロデューサー、ディレクター、コーディネーターたちに求められる姿勢が立ち上がっていくはずだと考えている。ともに舟を漕ぎ出そうとする方々の参加を心待ちにしている。

ゲスト



武田知也 たけだ ともや
舞台芸術プロデューサー／一般社団法人ベンチ 代表理事

1983 年横浜市生まれ。舞台芸術プロデューサー。2006～2014 年まで NPO 法人アートネットワーク・ジャパン所属。2008 年から国際舞台芸術祭「フェスティバル/トーチョ」の立ち上げに事務局スタッフとして関わり、2011～2013 年に制作統括。2014 年冬からロームシアター京都開設準備室。同劇場で事業・企画担当。2018～2020 年までフリーランスとしてロームシアター京都事業・企画担当、「さいたま国際芸術祭 2020」キュレーターなど。舞台芸術制作者オープンネットワーク (ON-PAM) 理事長。埼玉県川越市にてまちづくり・場づくりを手掛ける合同会社オンドメンバー。玉川大学芸術学部演劇・舞踊学科非常勤講師。



小沢剛 おざわ つよし
美術家／東京藝術大学教授

1965 年東京都生まれ。ユーモアを交えながら歴史や社会を鋭く批評する絵画、写真、映像、インスタレーションといった多様な手法の作品で知られる。東京藝術大学在学中から、風景の中に自作の地蔵を建立し、写真に収める《地蔵建立》を開始。1993 年から牛乳箱を用いた超小型移動式ギャラリー《なすび画廊》や《相談芸術》を開始。1999 年には日本美術史の名作を醤油でリメイクした《醤油画資料館》を制作。2001 年より女性が野菜で出来た武器を持つポートレート写真のシリーズ《ベジタブル・ウェポン》を制作。2013 年より、歴史上の実在する人物を題材に、事実とフィクションを重ね合わせ、物語を構築する「帰って来た」シリーズを制作。第 69 回芸術選奨文部科学大臣賞受賞 (2019 年)。



野田智子 のだ ともこ
アートマネージャー／Twelve Inc. 取締役

1983 年岐阜県生まれ。京都府在住。2020 年よりアートマネジメントとメディアプロデュースを軸にしたアーツプロダクション「Twelve Inc.」を美術家の山城大督と共同設立し、アートの環境創造とアーティストとの協働を行う。アーティスト・コレクティブ「Nadegata Instant Party」メンバー。現代美術作品の販売、国際美術展の広報等を経験したのち、2013～2019 年アートマネジメントを専門とした個人事務所「一本木プロダクション」を主宰。2015～2017 年 Minatomachi Art Table, Nagoya [MAT, Nagoya] 共同ディレクター。2018～2019 年「あいちトリエンナーレ 2019」ラーニングセクションマネジメント、2021 年～国際芸術祭「あいち」ラーニングコーディネーター。2023 年～名古屋城を舞台にしたアートプロジェクト「アートサイト名古屋城」のプロデューサー、2024 年～「かめおか霧の芸術祭」プロデューサーをつとめる。